

2011年6月14日  
住友化学株式会社

### 東北・関東地方の農水産物支援の取り組み拡大について

住友化学は、東日本大震災の被災地支援の一環として、社員食堂における東北・関東地方の食材使用や義捐金付きメニューの販売、また、被災地応援マルシェの開催について、4月14日付けのお知らせ以降、取り組みを拡大しております。

#### 1. 事業所の社員食堂での被災地応援メニュー提供

東京本社社員食堂での「東北・関東応援メニュー」提供の取り組みに続き、千葉工場、大阪工場、愛媛工場、大分工場の各社員食堂にて、義捐金付きの被災地応援メニューの提供を、大分工場では福島県産の米を使用するなどの取り組みを、5月下旬から順次開始しました。各事業所で集まった義捐金の合計額と同額を会社が拠出し、合算したうえで被災地へ寄付することとしております。この取り組みは、当面の間続けていく予定です。

事業所	取り組み内容
千葉工場	・千葉県産の食材を使用した20円の義捐金付の被災地応援メニューを、6月1日から週2回の頻度で提供。
大阪工場	・被災地産食材を使用した20円の義捐金付の被災地応援メニューを、5月17日から週2回の頻度で提供。 ・サラダバーや小鉢で被災地産の野菜等を使用。
愛媛工場	・20円の義捐金付の被災地応援メニューを、5月30日から週1回の頻度で提供。
大分工場	・50円の義捐金付の被災地応援メニュー(福島県産の米を使用したワンプレート日替わりメニュー)を、5月24日から毎日提供。

#### 2. 被災地応援マルシェ(物産展)の拡大開催

東北・関東地方の農水産物や加工品の物産展を4月22日に東京本社にて開催いたしました。その第2回目として、5月25日に「住友ツインビル合同マルシェ」を、東京住友ツインビル入居企業4社(新日鉄ソリューションズ株式会社、株式会社住友倉庫、三井住友海上火災保険株式会社、当社)の共催にて、青森県、岩手県、福島県、茨城県の物産を揃え、地域住民の方へもご案内して、ビル前の広場にて開催いたしました。今後も、物産展を通じての被災地支援に取り組んでいきたいと考えております。

以上